

世界最大級の鳥かご新設



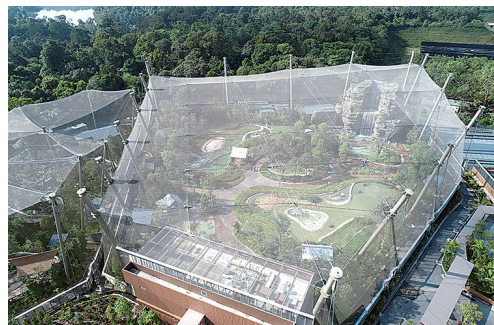
シンガポール北部のマンダイ野生生物保護区に新設した「バードパラダイス」。及ぶ鳥の動物園として、400種超の鳥類が3500羽以上飼育されている。世界で絶滅の危機にひんする鳥類の一部を保護し、それらを間近で観察できる貴重な機会を提供している。

事業は大林組の現地法人である大林シンガポールが実施。マングレイ・パーク・デベロップメントが発注し、バードパラダイスの全景

バードパラダイス (シンガポール)

設計をRSPアーキテクツ・プランナーズ&エンジニアズ（意匠）、エイコムシンガポール（構造）、スルバナ・ジュロン・コンサルタンツ（設備）、スクワイア・メック（同）、ランボル・スタジオ・ドライザイテル（外構）、フォン・コンサルトル（地下埋設トンネル）、テンシス・エンジニア（鳥かごコンサルタント）、スルバナ・ジュロン（消防）、ブラック&ウィーチ（動物污水处理システム）がそれぞれ担当した。事業期間は2018年3月～22年10月。

施工時点の検討課題として、約23万平方メートルの大規模敷地に対し既存野生動植物の保護を優先する施工計画の立案と実施、高低差約35メートルの敷地に点在する鳥かご



大型鳥類飼育用メッシュ

とメッシュで構築してお

り、鳥の安全と健康を確保する。最大35メートル、最長30・2メートルを含む170本の鉄骨支柱があり、施工ではその精度管理がポイントになった。全8カ所ある鳥かごのステンレスメッシュは総延べ床面積が約10万平方メートルあり、大規模なステンレスワイヤの緊張とステンレスメッシュの縫合の施工が必要だった。

来園者は安全に鳥たちが暮らす環境の中で一体感を味わうことができ、東南アジアやニューギニア、オーストラリア、アマゾン、南アフリカ、南極などの地域別に生息する鳥の生態に接することができる。鳥たちの生態を魅せるだけでなく、絶滅の危機にさらされた生物を保護すること、次世代へ教育の場を提供する機能を果たし、世界中の自然愛好家や保護活動家にとって必見の訪問地となっている。（おわり）

